

令和8年度



# 園だより 5月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 ○もりもりそだつ げんきなからだ ○たいせつな なかまとじぶん ○かんじる こころとあたま

## 『 柳緑花紅 -やなぎはみどり はなはくれない』

園長 原 麻弓

進級、入園から約ひと月が経ちました。  
お子様の、そして保護者の皆様の新しい生活はいかがでしょう？

子供園には4月に68名の子どもたちが揃い、毎日元気な声が園内や園庭に響き渡っています。

登園時にはおうちの人と離れがたくて涙が出る子ども、担任の先生の顔を見ると少しほっとして、徐々に自分の遊びを見つけて楽しみ始めています。

進級や入園を経て張り切って頑張っていた子は、これから疲れが出てくるかもしれません。

子供園では、そのままの姿を温かく受けて止めてまいります。子どもたちの様子を丁寧に読み取りながら、「頑張れ！」と「大丈夫だよ。」のバランスを取って支えていきましょう。

保護者の皆様におかれましては、お子様の進級や入園を機に、他のお子様の姿も目に入ることが増え、つい、「あの子に比べて、うちの子は…」と考えてしまうこともあると思います。心配になってしまうこともありますよね。

比べてしまう気持ちはぐっところえ、目の前のお子様の、昨日と違う小さな育ちに目を向けていきましょう。

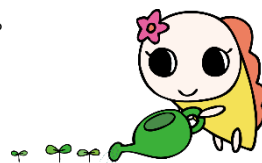
職員室では「あの子は涙が出ている時間が短くなってきたね。」「今日は自分で着替えを進めていたんですよ。」など、その子一人ひとりの育ちを見て、共有しています。

一人ひとり、育ちのペースも育ち方もそれぞれです。焦らずに、信じて待つことも、子どもたちを取り巻く大人に必要な姿勢です。

私の通勤途中にある寺院には毎月、様々な言葉が入り口に示されています。4月は「柳緑花紅」でした。

～木々の緑、花々の紅はそれぞれの色を放っているからこそ、春は美しい～

共に育ち合いながら、個性を輝かせていく、まさに子供園の子どもたちのことだなあと感じています。



ゆっくりと子どもたちの育ちを感じ、子供園と保護者の皆様とでその喜びを共有しながら、しあわせいっぱいの子供園をつくっていきましょう。

